

「水清ければ、魚棲まず。瀬戸内海の貧栄養化問題」

兵庫県 水産技術センター 前所長 反田 實 (たんだみのる)氏

日時：2016年5月7日（土） 13:30 ～ 15:00

会場：神戸女学院大学 エミリー・ブラウン館

201教室（阪急門戸厄神駅 徒歩15分）

どなたでも参加できます（無料） 資料準備のため、事前申し込みにご協力ください。当日参加も歓迎

申し込み（件名：記念講演会）
E-mail : mukogawaken.net@gmail.com
（武庫川ネットHP） <http://muko.jimdo.com/>

問い合わせ先：武庫川流域圏ネットワーク
代表 山本義和 : Tel 0798-31-1544
事務局長 白神理平 : Tel 0798-53-3273

講演について

近年、瀬戸内海の水質は大幅に改善し、見た目にきれいな海が戻って来ましたが、しかしながら漁獲量が減少するなど、海の豊かさが失われてきています。その原因の一つとして海の栄養塩の減少（貧栄養化）が考えられます。このような現状を踏まえ、昨年は瀬戸内海の実環境施策に大きな変化がありました。本日は、栄養塩環境やリ養殖など漁業の現状についてお話しします。また瀬戸内法の改正についても紹介します。

講師紹介

1973年、京都大学農学部卒。博士（農学）。
2008年、兵庫県水産技術センター所長、2013年から同技術参与。

現在 水産海洋学会評議員、日本水産学会近畿支部幹事、全国漁業協同組合連合会多面的機能発揮活動技術サポート専門家など。

専門は水産海洋学（資源管理、漁場環境、魚類生態）。イカナゴの資源管理・生態研究、カレイ類の生態研究・増殖場造成から漁場環境保全まで。

著書「海と湖の貧栄養化問題（共著）」地人書館、「稚魚学（共著）」生物研究社、「沿岸の環境圏（共著）」フジ・テクノシステムなど。



正常なワ（左）と色落ちしたワ（右）



資源調査 風景



漁業者によるため池の「かいぼり」風景



環境調査 風景